

# かけはし

岩国市立錦中学校だより 第24号

令和3年(2021年) 3月31日(水)

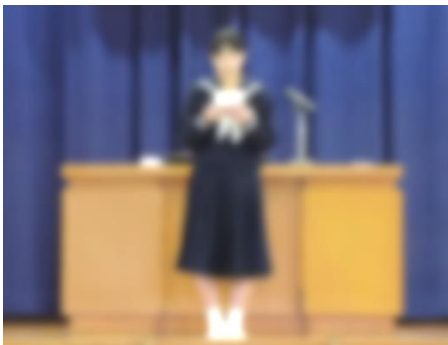
<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>

## 第46回 錦中学校卒業証書授与式

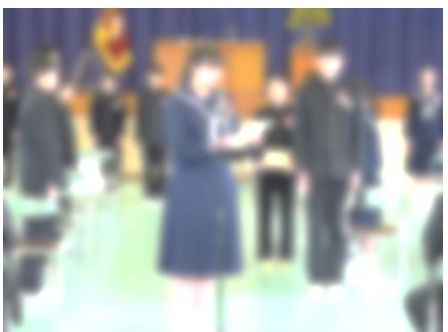
校長 秋本 泰宏



答辞を読む生徒代表



送辞を読む生徒代表



保護者への謝辞

令和3年3月11日(木)第46回 錦中学校卒業証書授与式が挙行政され、多くの来賓の方、保護者の方、教職員・在校生に見送られ、14名の生徒が本校を巣立っていきました。

私は、校長式辞の中で卒業生に、これから進む道において、大切にし、見失わないでほしい三つのことについて話しました。

一つ目は、「感謝と謙虚さ」です。PTA会長さんの祝辞の中にも、「人は心から感謝するとき、自然と頭が下がります。どうかみなさんも、どんな小さなことでもいいから、自然に頭が下がり、そして下げてもらえるような優しい人になってください」と、同様のメッセージをいただきました。私も「感謝と謙虚さ」は、生徒が自分自身を成長させていくために欠くことのできない重要な要素だと考えたからです。

二つ目は、「仲間」を大切に想う気持ちです。卒業生代表の答辞の中でも、保護者や教職員への感謝や後輩への激励の言葉とともに、仲間に向かって、「どんな困難が立ちまわっても、そのたびにみんなで協力して、解決していったね。クラスメイトがこのメンバーで本当によかった」と語り、「明日からは別々の道を歩いていくことになるけれど、僕たちの絆は、決して色あせることはありません。お互いに顔を上げて、胸を張り、未来への一歩を踏み出していきましょう。」と締めくくっています。私も、三年間の思い出すべてに仲間がいたということ、忘れないで欲しいと願っています。

そして三つ目は「ふるさと」を誇りに思う心を大切にしたいということです。在校生代表の送辞の中で、卒業生に向けて、「高い壁にはばまれ、自信を失うこともあるでしょう。そんな時は、この錦中学校での日々を思い出してください。私達はいつでも、この錦中学校から、皆さんのことを応援しています。いつまでも私達の尊敬する先輩として輝き続けてください」とエールを送りました。私も、自分たちが育ち、また育ててもらった、このふるさと『錦』を大切に想い、母校である錦中学校とともに、いつまでも忘れないでほしいと強く願っています。

卒業生のみなさんのこれからの人生に幸多いことを祈っています。